

宇和島信用金庫との業務提携がご縁で被災地への 寄附金贈呈につながりました

当金庫は、伊達政宗の長庶子（側室の子供、長男）である伊達秀宗が、宇和島藩主として1615年3月に入部して400年になる事を記念して、昨年12月に愛媛県の宇和島信用金庫と業務提携しております。

その一環として4月に宇和島信用金庫の「うわしん年金友の会」ご一行に宮城県内を2泊3日で訪ねていただき観光交流をしていただきました。東日本大震災により被災した名取閑上地区を訪問され語り部の方から震災時の状況や復興の状況ををお聞きになった旅行参加者のお一人から閑上地区のある名取市に100万円を寄附したいとお申し出を頂き、寄附金は当金庫矢野理事長が5月26日名取市の佐々木市長を訪ね、贈呈いたしました。佐々木市長からは「深い感謝の意と復興を力強く進めていく旨」のお話をいただきました。ご寄附をいただいた方はもちろんのこと、旅行にご参加いただいた方、旅行を企画していただいた宇和島信用金庫の方々に深く感謝いたします。

